

科目名	仏教文化文献研究 I [院]					単位	2.0
担当教員	福田 琢						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	1, 2	授業番号	5381

●授業のテーマ

『摂大乘論』を読む

●到達目標

『摂大乘論』の読解を通して瑜伽行派の教義概念や理論の正しい理解を目指す。

●学習内容(授業概要)

『摂大乘論』は無着(アサンガ)の作とされ、瑜伽行派(唯識)の立場から大乘仏教の思想を俯瞰的に扱った書物である。このテキストを玄奘訳に基づいて読解しながら、仏教思想史における瑜伽行派の意義について考えたい。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. 前期読解範囲の概要
2. 読解 (01)
3. 読解 (02)
4. 読解 (03)
5. 読解 (04)
6. 読解 (05)
7. 読解 (06)
8. 読解 (07)
9. 読解 (08)
10. 読解 (09)
11. 読解 (10)
12. 読解 (11)
13. 読解 (12)
14. 読解 (13)
15. 前期のまとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回、国訳や現代語訳などに基づいて事前に内容の概略を把握しておくこと。

●成績評価方法・基準

授業中のレポート(5割)・出席(5割)

●テキスト(必携)

授業中にプリント配布する。

●参考文献／その他

長尾雅人『撰大乘論—和訳と注解』（インド古典叢書）講談社

小谷信千代『撰大乘論講究』東本願寺出版局

岡野守也・羽矢辰夫『撰大乘論 現代語訳』コスモス・ライブラリー

●履修上の注意

配布資料は整理して保管しておくこと。